



第7回 ひょうご がんシンポジウム

がんを知る、がんと向き合う、がんと闘う

平成26年 **4月6日(日)** 14時～(13時30分開場)
よみうり神戸ホール

司会 井上 さゆ梨(ラジオ関西パーソナリティ)

● **開会のごあいさつ** 山村 武平 (ひょうごがん対策委員会委員長)

● **祝辞** 太田 稔明 (兵庫県 健康福祉部長)

● **講演内容** ● **胃がんのこと 本当に知っていますか**
兵庫県医科大学
上部消化管外科 主任教授 笹子 三津留

● **Q&A**

● **閉会のごあいさつ** 八木 利樹 (読売新聞大阪本社神戸総局長)

[主催]ひょうごがん対策委員会

[後援]兵庫県・兵庫県健康財団・兵庫県医師会・兵庫県薬剤師会・兵庫県がん診療連携協議会・ラジオ関西・読売新聞大阪本社



ご挨拶

ひょうごがん対策委員会

委員長 **山村 武平**

わが国は胃がん大国として知られ、長年にわたりがんによる死亡者数、罹患者数がともに第1位を占めていました。内視鏡検査・治療の進歩や抗がん剤等の進歩の結果、ごく最近になり死亡者数のトップは肺がん、次いで胃がんとなりましたが、罹患者数は依然として第1位です。

今回ご講演をいただく笹子三津留先生はご略歴にもあるように、がんの研究・治療において日本を代表する施設である国立がんセンター中央病院の外科で長年にわたり中心スタッフとして、また副院長としてご活躍されていました。まさにわが国が世界に誇る胃がん治療の第一人者と言って過言ではありません。しかし先生は本物の外科医らしく非常にさっぱりとした優しいお人柄ですので、質問コーナーでは、躊躇せず何でもご質問下さい。

今日のシンポジウムが皆様のお役に立てば幸いです。

兵庫医科大学 上部消化管外科 主任教授



笹子 三津留 ささこ みつる

学歴・職歴： 1950年7月20日 兵庫県西宮生まれ
1969年3月 兵庫県立神戸高校卒業
1976年3月 東大医学部医学科卒業
1976年6月より 東大第2外科、都立墨東病院などで研修
1984年7月 東大医学部より医学博士号取得
1984年9月 フランス政府給費留学でパリ大学へ留学
1985年12月 東大第2外科講座助手
1986年8月 東大第2外科医局長
1987年5月 国立がんセンター中央病院外科スタッフ
1989年9月 オランダライデン大学外科Boerhaave教授(招聘教授)
1991年1月 国立がんセンター中央病院外科医長
1997年10月 国立がんセンター中央病院第1外来部長
1998年1月 国立がんセンター中央病院第1領域外来部長
2006年4月 国立がんセンター中央病院副院長
2007年7月 兵庫医科大学 特命教授 (外科担当)
2008年4月4日 兵庫医科大学 外科学講座 主任教授 (上部消化管外科)
現在に至る